

区民の声を区政に!

なくそう子どもの貧困



区長に来年度予算の緊急要望を手渡す区議団

戦争法強行に抗議する「決議」を3会派で提案

戦後70年の今年9月19日参議院本会議で、国民多数が反対する中、安倍自公政権は「安保関連法案」の採決を強行しました。

区議会の三会派(日本共産党、民主・維新・未来、生活者ネットワーク)は10月の第三回定例会で「安保関連法制と議会制民主主義に関する決議」を共同提案しました。また、6月議会でも「慎重審議を求める意見書」を議会に提案し、三会派合同で駅頭宣伝を3回にわたって行うなど、共同の取り組みをすすめています。

健やかに育て子どもたち!

子どもの6人に1人が貧困状態と言われ、早急にその対策が求められています。国は昨年法律をつくり、大綱を閣議決定しましたが、貧困状況に置かれている子どもや家庭に手が届いていないのが実態です。江戸川区でもこの間、子どもの貧困につながる、学童クラブ補食廃止など子ども関連の施策を削減してきました。



大企業、富裕層を優遇し、庶民には、増税、社会保障削減と不安定雇用など貧困・格差を拡げている国の政治が根本にあります。第3回定例会では江戸川区として、すぐに手

をうてる課題を提案しました。子どもの貧困対策として、全庁あげて副区長をはじめ部長が勉強会や検討を進めていることを、区長は明らかにしました。

子どもたちの置かれている実態把握を

学校に行かなかつたり、生活が乱れたりしている子どもがいます。問題があっても実態がよくわかり

ません。対策を立てる上で、子どもたちの状況をつかむことが必要です。

スクールソーシャルワーカーすぐに配置を

問題をかかえる子どもや家庭を支え、必要な支援につなげるスクールソーシャルワーカー。23区で江

戸川区、台東区だけ配置していません。小・中学校にすぐに配置するよう求めました。

江戸川区の子ども施策に希望を

認可保育園に入れず、保育料が高い認証保育所に預ける保護者への保育料助成をしていないのも、虐待を予防するこんにちは赤ちゃん事業(新生児全戸訪問含む)を実施していないのも江戸川区のみ。全国で初めて小学校に「読書科」

をつくったものの、専門の学校図書館司書を配置していないのも江戸川区だけ。改善を求めています。



学校図書館

給付型奨学金の充実を

貧困の連鎖を断ち切るために、大学、専門学校など卒業し夢を持つて働き自立することがとても大切です。しかし、入学金、授業料を借り、卒業と同時に多額の借金を背負うことになる現状です。江戸川区で

は貴重な給付型奨学金(木全・手島育英資金)がありますが、自立をめざす子どもたち全てが活用できる給付型奨学金が求められます。国や都にも求めています。

学童クラブの補食持参、臨時職員増員の検討

保護者責任での補食持参は、来年4月からの実施予定ですすめられています。区は、関係者の意見を聞き、学校への要請や臨時職員の増員を含め具体化を検討していると回

答。実施にあたり、保護者の意見も聞くべきではないでしょうか。共産党は、廃止前のように補食を提供することを、引き続き求めていきます。

学校・区役所跡地に区民の願いを

平井第二小と清新第二小が、来年3月末で閉校になります。その跡地に、特養老人ホームや認可保育園など、住民要求の切実な施設や、全区的な視点からの施設の検討が必要と。そのため、公募の区民も含む検討委員会の設置を求めました。区長は「さまざまな検討会を設けるなど、公平・公正に決める」と答えました。

今年3月の議会、区役所の船堀への移転を決め、区役所周辺住民から「寂れてしまうのでは」との声が。地元住民に説明を求める質問に、区長は「今以上にぎわいのある町に必ずする」と述べました。



庁舎移転予定の船堀(白線囲み)